

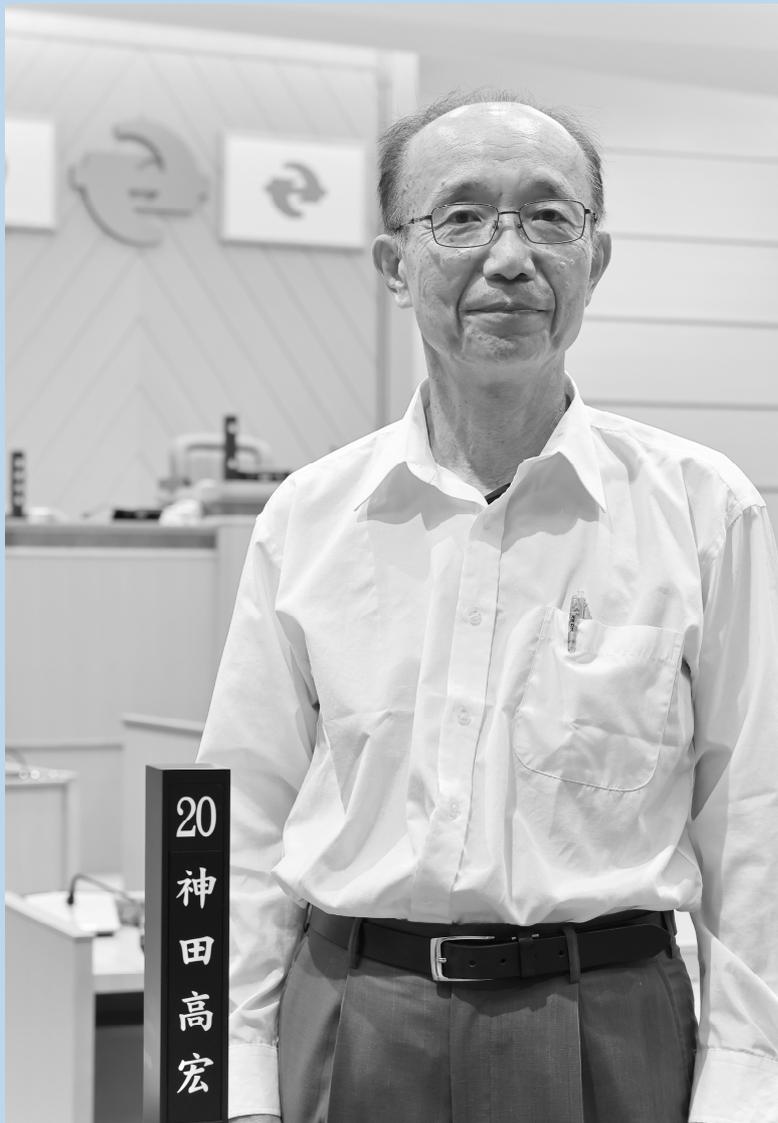
◆関西共同行動ホームページ「<https://no-war.sakura.ne.jp/>」にアクセスを！よろしく！！

# 関西共同行動

# ニュース NO.98



大阪府中央区内淡路町 1-3-11 シティコープ上町 402 号室 市民共同オフィス SORA 気付け  
 関西共同行動 TEL 06-7777-4935 ★郵便振替口座 00950-9-78379



題字／橋本 勝

写真／細川義人

6月16日 精華町役場議会にて神田議員を写真取材。

## 特集：トランプと石破、 天皇とミサイル配備

### 目次

- バロン吉元の「柔侠传」を推す  
古橋雅夫 ..... 2
- トランプ政権の誕生／  
日本のとるべき政策は？  
三牧聖子 対談 猿田佐世(講演録)  
(講演要約-齋藤郁夫) ..... 4
- 今は戦争前夜なのか  
—海渡双葉さん講演会報告  
川口浩一 ..... 6
- 韓国民衆の闘いによって  
誕生した李在明新大統領  
崔誠一 ..... 8
- 天皇制の暴力を許さない！  
天皇制を廃絶しよう！  
森重和樹 ..... 9
- 祝園弾薬庫増設問題について  
神田高宏 ..... 11
- 読者からのメッセージ・表紙  
写真のことば・編集後記 ..... 7

★お知らせ  
 関西共同行動のホームページアドレス  
 が新しくなりました。旧アドレスは使  
 えません。

新しいアドレス  
<https://no-war.sakura.ne.jp/>

# バロン吉元の「柔侠伝」を推す

【関西共同行動】 古橋雅夫

70年に双葉社発行の「漫画アクション」にバロン吉元作の「柔侠伝」という作品の連載が始まった。71年に連載をまとめたB5版の別冊が発売され、わたしは（むろん！）今も大事に保管している。知っている人は多いと思うが、左右を問わず当時の学生に大人気の漫画であった。

この漫画は、のちに「昭和柔侠伝」「現代柔侠伝」「男柔侠伝」「日本柔侠伝」と4世代にわたる親子の歴史物語として続くことになるが、日露戦争勝利の1905年（明治38年）から物語りが始まり、日比谷焼き討ち事件―太平洋戦争―敗戦―下山事件―三池闘争―安保闘争へと史実や実在の人物を織り交ぜながら現在に続くまでの壮大な作品群で、中でもその始まりとなる「柔侠伝」は、スタジオジブリの鈴木敏夫さんが「自分のベッドの傍に置いてある本の中で、漫画はバロンさんの柔侠伝だけ」と評するのも当然の傑作である。

主人公柳勘九郎の父秋水は古武道たる柔術の師として息子に「講道館柔道を倒せ！」と遺言して果てる。この父親の名前からして意味深なわけで

すが、金もなく頼る人もなく、ただその遺志を果たすべく東京に出て講道館に入る（全シリーズにわたって、物語の主人公は柔道家であっても、一貫しているのは、事あれば禁じ手なしの自在に突き・蹴り・関節技・骨折技などを駆使するところがミソ）。そして下町の底辺に暮らす様々な人々とのエピソードが全30話でつづられる。中でも第22話「凱旋」というエピソードが私は好きだ。

勘九郎は、ある日包帯をし松葉杖をつき、血を流しながらも歩く傷病兵に出会う。聞くと東京駅の開業式があり、そこに自身の尊敬する軍神の顔を見るべく、電車で行くのは恐れ多いので歩いて向かうところだという。しかし歩けない傷病兵を見捨てるわけにもいかず、勘九郎はしばし行動を共にする。その過程で、女手一つで子育てする家、捨て子やその子を捨てた同僚、PTSDを発症した兵隊

や酒に酔っ払った将校など様々な出来事に出会いながら、もうすぐ東京駅に着くという段になった。そこに集まった群衆から日の丸を渡されるが、しかし傷病兵は「いりませんよ」「私は帰るところですから」ときびすを返すに至る―というエピソード



ドだ。当初の何としてでも軍神に会いたいという気持ちだが、戦争というものが何であったかを目のあたりにして、ついに百八十度心変わりするといふその語り口がうまい。

この「柔侠伝」の最後、勘九郎は宮崎滔天に誘われて大陸に渡り、馬賊の頭目となって日本軍に抵抗する。そして息子を義和団事件の生き残りの拳士に託して生涯を終える（物語は順次息子に引き継がれ現代に至り、自給自足のコミュニティを九州に設け梁山泊道場として仲間を糾合し、政界に巣くう右翼武装団体と壮絶な死闘を開始する）。

バロン吉元は、中国の故事だが加納治五郎の言葉を紹介している。「柔よく剛を制し、弱よく強を制す。柔は徳なり、剛は賊なり。強者は人の忌むところとなり、弱者は人の助くるところとなる」――現実世界において敵を見定めるといふ物語のメッセージに感動して、大学に入るや少林寺拳法部に入部。その後20年従事して3段を取得した。

少林寺拳法の開祖宋道臣は、1980年に亡くなるが、入部当時はまだ健在であった。開祖の言う事は右翼的ではあったが、板の間があれば道場となり、そこには日の丸はなかった。日中国交回復前から中国要人と交流があり、来日するたびに警護役をし、中国侵略の歴史にも言及する（巨大な）武道団体でした。敗戦直後は武道が禁止された経緯があり、「宗教団体」として登録、出発した。

そのためか練習を前に座禅し「人生まれて世にある時、人道を尽すを貴ぶ、まさに人道に於て、はずる処なくんば、天地の間に立つべし、若し人あり、仁、義、忠、孝、礼の事を尽さざれば、身世に在りと雖も、心は既に死せるなり、生を偷むものと云うべし、凡そ人心は、即ち神なり仏なり、神仏即ち靈なり、心にはずる処なくば、神仏にもはずる処なし」などの文言を唱和させられた。

武術というものは、そもそもはインドが発祥の地であり、それが仏教とともに中国にわたり、嵩山少林寺に達磨大師が禅宗を広める際に、心身一体論として拳法が生まれた。それがいわゆる僧兵と化して時の政治権力と闘い、弾圧されて技術が全土に拡散。手が主流の北拳、足が主流の南拳と各派乱立して、その一部が沖繩に伝わり「唐手」――「空手」と形を変えていく。1900年の義和団の乱はその流れを汲んでおり、開祖は、縁あって戦中の大陸で、その生き残りに師事することになったのが事の始まりである。

拳士たるものは年1回は必ず「本山に帰山せねばならぬ」として四国・香川県多度津にある本部道場に合宿した。広い講堂に全国から学生が結集し、交流を深める。そこが開祖の独壇場である。開祖曰く、「誰よりも強い人間、力のある人間など、孤独なだけで何もなしえない。石を手で割ってどうするんだ？割るならハンマーを使えばいい

んだ。」「私が皆さんに期待するのはかしこい狼の群れだ。一人一人の力は弱くても、目的を一つにした集団の力があれば、なんでもできる。」そしていう。「私が誰か要人を殺すと言ったらどうするか。どこかのヤクザのように人にやらして自分はやらんという事はしない。君たちは私についてくるか。ついてくるもんは手を上げてみい」などと挑発した（私も手を上げた一人）。集団心理の怖いところだが、あの頃の熱気を忘れることができない。

だからという事ではないが、大学に入ってもしばらくは高校時代の詰襟の学生服を好んで着ていた（高校では、制服廃止を決めた世代なのだが）。安保闘争時代の闘う学生が詰襟だった写真を見て感動したからであった。ところがある日、その制服が見つかからない。母親に聞くと「いつまで学生服なんか着てんのか」と捨てられていた。胸囲が1メートルを超え、太ももが太くてズボンがはけず、疲れも知らず1日サンドバッグを叩いていた頃を思えば、体重は10キロも増え、階段の上り下りもしんどい今、ただの頭でっかちの、口先だけの人間に墮していないか。「今の若者は・・・」という言い方で、かつての自分がどうであったかを忘れていてのではないか。天網恢恢疎にして漏らさず、自己点検を怠ることなかれ。

結手

講演要旨

# トランプ政権の誕生 日本のとるべき政策は？

【同志社大学大学院教授】三牧聖子 対談 【新外交イニシアティブ 代表】猿田佐世

3月22日、「とめよう！戦争への道・めざそう！

アジアの平和2025春 関西のつどい」で三牧聖子さん（同志社大学大学院教授）と猿田佐世さん（新外交イニシアティブ代表・立教大学講師）の講演・対談が行われました。以下はその報告です。

## 三牧聖子さん講演

戦後国際秩序は壊れかけても最終的には法の支配

配に戻ったが、

アメリカのトランプ政権はそれを否定した。就任演説で彼は「第2次世界大戦後、日本・西欧につけ込まれ利用されてきたが、それを終わらせる」といい、米国第1主義を

三牧聖子さん（撮影：細川義人）



宣言した。

### (1) トランプ政権の閣僚

トランプ政権の閣僚はすべてトランプの僕である。國務長官マルコ・ルビオは、「冷戦後、全人類は1つの人類家族となる運命にあると考えていたが、それは幻想だった」。イーロン・マスクは、ドイツAfD（独のための選択肢）の集会で「過去は忘れる、未来だけ見ればいい」。

副大統領バンズは、「ヨーロッパで懸念されるのは、ロシアや中国よりも、内なる脅威だ」。国防長官ヘグセスは、「ロシアがクリミアを併合する以前の領土に戻すのは非現実的だ」。そうしてトランプ政権はまずUS A I D（米国際開発庁）を解体し、他国のD E I（多様性・公平性・包括性）計画の支援を中止した。

今西欧で浮上しているのがヤルタ2.0だ。ヤルタ会談が、第2次世界大戦の終末期に戦後体制を準備したように、今の世界は米国・中国・ロシアが今後の世界を勝手に決めることがありうるのではないだろうか。

### (2) 米国社会の変化

米民主党にはオルタナティブな米国の姿、平和の構想がない。民主党の支持率はここ10年で最低。移民問題でも、不法移民から米国を守るというトランプの主張に負けている。米国は移民によって大国になったのに、合法移民もこれ以上入れるべきではないという声が台頭し、民主党支持者の42%が不法移民の強制送還に賛成。トランプ個人への批判は広がっているが、トランプの政策には支持がある。

トランプは就任演説で、D E I政策は白人に対する差別だとしてこれを終わらせると明言した。これはマイノリティの存在を否定するものだ。そしてグーグル、メタ、アマゾンにD E Iを廃止した。

この政策変更は、科学研究にも大きな影響を与え、バリアー、ダイバーシティ、差別、平等、公平、女性、ジェンダーという言葉が含まれているだけで、研究の助成金が下りない。気候変動の研究も大きく後退した。教育庁の廃止も噂されている。

以前の米国は間違った方向に進んでも、市民社会や大学人の言論の力によって元に回復されてきたが、その力が削がれつつある。トランプの閣僚は親イスラエルの人物がそろっている。ガザ停戦はトランプへのご祝儀だった。



猿田佐世さん（撮影：細川義人）

回避する道のりがいかに困難であっても、耐えがたい戦争を受け入れる困難さは外交による問題解決の困難を上回る。最後まで外交を諦めてはならない。

トランプ政権は学生のガザ連帯キャンプの行われている大学には補助金を停止すると圧力をかけ、大学当局が学生を自主的に規制し始めた。このような圧力のかけ方は昨年もあり、その時は超党派で行われた。米民主党にも期待できない。

米国は権威主義になりつつあるが、トランプさえ打倒すれば元に戻るといふ単純な話ではない。米国の政治は、庶民の政治どころか、就任式に集まった男性中心主義で無責任な大富豪たちの政治になろうとしている。日本は米国と価値を共有するのか。

### 猿田佐世さんの問題提起

日本は日米同盟が基軸だ。日本の保守層は、米国が日本を守らない？ならば独自の防衛を強化し

なければと思っている。リベラル派は、米軍が本当に引きあげることなど考えたこともなかった、しかしそうなれば独自で防衛力を強化していかねばと言っている。日本の向かう方向は本当に防衛強化でいいのか。

米国は日本を助けられないかもしれないが、中国がいきなり攻撃してくる可能性は少なく、日本が戦場になる可能性も少ない。日本のGDPは中国の6分の1。そんな中国を相手に戦っても勝てない。防衛費を2%にするのも大変なのに3%などとても無理だ。軍事力で平和になるなら、もうとづくに平和になっている。要するに相手に『安心の供与』をする、それが戦争をしない一番の方法だ。相手を怖く思うのは信頼関係がないからで、それを作ることに肝要だ。

### お二人の対談

三牧：トランプが習近平に接近し、日本が梯子をはずされるかもしれない。プーチン・トランプ・習近平が権威主義的枠組みを作るなら、西欧はついては行かない道をとっている。米中が接近し、トランプは西半球の帝国を作りたい。パナマ、グリーンランドは米国のもの。中口の勢力圏を認め、台湾は中国の自由に、ウクライナはロシアの好きにしていい。このとき、日本はどうするのか。

猿田：米民主党議員が訪日し、立憲民主党の野田さんに会った。日米同盟は形の上では今後も継続

するが、今の米国との同盟関係を維持するのかと野田さんに迫ったとき、野田さんは国際協調は守らなければと応えた。今世界は多極化しているが、他国への侵略は絶対反対の国が圧倒的に多い。その国とつながりながら米国の反対派ともつながり、国際世論を作っていくことが大切だ。米国民も自らだけではトランプと対抗できない。国際的な陣形が必要だから、米国からも手を伸ばしていきたいという話を聞くようになった。

三牧：トランプは、裁判所にも従わない。民主党の方でもトランプの政策を支持する層が出てきている。今は2大政党制を考え直す局面かなと思う。南アなどグローバルサウスが力をつけている。国際刑事裁判所の所長をしている赤根さんが、 Netanyahuとガラントに逮捕状を出したことで、米国は同裁判所を制裁すると言い、所長の赤根さんは制裁をやめるように世界に訴えているが、日本の動きが鈍い。石破・トランプ対談で、石破さんは日本でも好評だったが、1兆円まで米国投資を伸ばすと表明し、他のことには触れず只ひたすら日米会談の成功だけに注力した。でも結局関税は上げられた。

今は米国との関係はむげにはできないが、米国で起きていること、米民主党の国際連帯の訴えを考え、日本が自立した選択をすることが重要だ。間違った追従をしないこと。日本は西欧に倣って

**ND**  
NEW DIPLOMACY INITIATIVE

## ベトナムの命がけの全方位外交

●Bamboo Diplomacy  
安保理常任理事国5カ国を含む全ての国と良好な関係を築く

●「4つのNO」

- ① 軍事同盟に参加しない
- ② 二国間関係に第三国の介入を求めない
- ③ 外国の軍事基地を置いたり領土利用による他国への対抗をさせない
- ④ 国際関係における武力行使、武力による威嚇をしない。

ウクライナを支援してきたが、グローバルサウスはそこから1歩引いて中立姿勢をとった。これからの外交姿勢について猿田さんの話を！

**猿田・ガザ・ウクライナに触れなかった石破さんを責められない。**でも、例えば国際刑事裁判所の件でグローバルサウスと連携するとか、他のことではものを言っていない。パレスチナ難民支援機構への支援、休戦へのリードとか。ベトナムはよくやっている。どこの国とも平和で行く。自主自立、どことも同盟は結ばない。外国の軍事基地は置かない。全方位外交だ。グローバルサウスの智慧から学ぶことが多い。

**三枚・全方位外交**しかないのかな、ベトナムのようにしなやかに。米国の若い世代はむしろ世界の認識と合致してきている。米国の若い世代には希望があると付け加えたい。

（講演要約／齋藤郁夫）

海渡双葉 弁護士



2025年5月24日、戦争あかん！ロックアークシオン／共謀罪に反対する市民連絡会・関西／関西共同行動の三団体の主催で表記集会が開催されました。能動的サイバー防御法は集会直前の5月16日には大きな話題となることもなく、すんなり成立していました。マイナーな問題であり、集会の結集ぐあいが心配されましたが、予想をうまわる108名の結集があり、会場がほぼ満席となりました。

講師の秘密保護法対策弁護士事務局長・海渡双葉弁護士からはパワーポイント画面76枚の詳し

# 今は戦争前夜なのか 経済安保法からサイバー防御法が示す未来を問う

## 5・24集会報告【共謀罪に反対する市民連絡会・関西】

い資料が送られてきました。

まず、2013年12月に強硬採決により成立した特定秘密保護法の運用を監視すること等を目的に、2014年1月に設立された秘密保護法対策弁護士に、弁護士になりたての海渡双葉さんも加入し、活動してきたことが述べられました。

2024年5月に成立した「重要経済安保情報の保護及び活用法（経済安保法）」について、①「重要経済安保情報」としての秘密指定をすること、②当該情報にアクセスする必要がある者（政府職員と民間人）に対して政府による調査を実施し、信頼性を確認してアクセス権を付与すること（信頼性評価⇨適正評価）、③重い刑事罰が規定されていること、と「特定秘密保護法」と全く同じ構図であることが指摘されました。

そして、問題点として、①「重要経済安保情報」の定義が広範かつ不明確なこと、②特定秘密保護法では、特定秘密の対象は4分野（外交、防衛、テロ、スパイ活動）という限定があったが、経済安保法成立を受けて、政府は、漏洩によって安全

保障に「著しい支障」がある重要経済安保情報は「特定秘密」が適用できるとしており、法改正ではなく、運用で特定秘密を拡大させようとしていること、③漏洩行為だけでなく、取得する行為についても、5年以下の拘禁刑、500万円以下の罰金刑で、漏洩または取得行為について共謀・教唆・扇動した者も処罰の対象としており、ジャーナリストや市民がある情報を取得しようとした場合にその情報が実は重要経済安保情報に当たるか否かを判断するのは困難であるため、冤罪の温床になる危険が極めて高いこと、④適正評価の調査により、プライバシーが侵害され、内閣総理大臣のもとに設けられた新たな情報機関に膨大な個人情報が増え蓄積されること、が挙げられました。

こうした流れの中で2025年5月16日に能動的サイバー防御法が成立しました。

この法律は、①サイバー攻撃防止のために同意なくして通信情報を取得すること等を可能にする「ネット監視法」、及び、②サイバー攻撃による重大な危害を防止するため、警察官または自衛官による「無害化措置」と名付けられた先制的なサイバー攻撃を実施する根拠規定として、警察官職務執行法と自衛隊法などを整備した法律、の2つで構成されています。

ネット監視法の問題点として、①憲法21条に違反し、通信の秘密を侵害すること、②収集される

通信情報の範囲が極めて広範であること、③令状不要で司法審査が及ばない、すなわち、警察にネットを監視する権限を与えるにもかかわらず、裁判所の令状が必要ないこと、④目的外利用を広く許容する結果となりうること、が指摘されました。

こうしたサイバー空間の日常的な監視に基づき、サイバー攻撃の兆候があれば、管理者に無断で警察や自衛隊がシステムに侵入し、「無害化措置」を実行するというのです。こうした行為に大きな問題があることは、誰の目にも明らかです。

サイバー防御法の問題点として、①「通信情報の利用」という名のネット監視は、憲法に違反し、通信の秘密を侵害すること、②スノーデンが暴いた、国家による違法な監視の実態が分かっていること、③「アクセス・無害化措置」という名のサイバー版・敵基地先制攻撃は、サイバー空間での戦争行為に等しいこと、④相手国に対する主権侵害という重大なリスクがあること、⑤「サイバー行動に適用される国際法に関するタリン・マニュアル」に即したのものになっていないこと、とまとめられました。

日本が戦争に向けて着実に準備を進めていることを改めて認識させられた学習会でした。

反戦闘争を持続的かつ地道に闘い続けなければなりません（川口浩一）。

### ■読者から寄せられたメッセージ

・前号の「すでに戦前の法に囲まれている」を読み肌感でわかっていたものが、目の前に突き出された様で欧州の右派・トランプの動きを合わせてどの様になるのか身震いする思いです。

2025. 2 堺市Tさん  
いつもありがとうございます。

2025. 2 神戸市ーさん  
いつも関西の色々な集会の日程をホームページに掲載して下さり、ありがとうございます。兵庫県は、現在、治外法権地帯になってしまっている様です…。でも、テレビではそれを突っ込む報道が全くなく、万博万博と言っばかり。一体この国はどんな感じまうのかと心配でなりません。

もし、関西共同行動ホームページに巡り会ってなかったら、色々な集会・講演会・勉強会に参加する事も無く、告発文書問題と兵庫県知事選での齋藤何某の「嘘も百回繰り返せば本当になる」作戦にまんまと乗っかってしまっていたかもしれないと思うとゾッとします。本当に、本当にありがとうございます。これからも、どうかたくさんの方の集会等の情報を一般の私達に知らせてくださいませ。

2025. 5 兵庫県Aさん

### ■表紙写真のつぼ

5月11日 精華町議会議員選挙に当選。祝園ネット副代表の神田議員は、祝園弾薬庫増設の危険性について声を上げて取り組んでいる。弾薬庫と住宅地の保安距離の問題点や今後更なる弾薬庫増設の問題点など強靱化や抑止力が本来に必要なのかと議会で質疑されていました。一議員として、一人の精華町の市井として、祝園弾薬庫増設問題に気概を持ち続ける心の持ち主です。細川・記

### ■編集後記

最近ナムノキを買った。きまって夜になると葉が閉じる不思議。このバイオリズムを見習う(古橋)。

# 韓国民衆の闘いによって

## 誕生した李在明新大統領

【韓統連大阪本部】 崔誠一（チェ・ソンイル）

6月3日、韓国で第21代大統領選挙が実施された。その結果、投票率79・4%中、野党「共に民主党」の李在明（イ・ジェミョン）候補が49・2%の得票数を得て、大統領に当選した。

今回の大統領選挙は最初から予定されていた選挙ではない。昨年12月3日、尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領（当時）が突然非常戒厳令を公布し、韓国の民主主義が危機に陥る中、多くの韓国

民衆が非常戒厳令に抗議して立ち上がり、国会で尹錫悦の弾劾訴追案の可決、4月3日には韓国憲法裁判所が尹錫悦大統領の罷免が決定され実施された選挙だった。今回の選挙の基本構図は、非常戒厳令（内乱）を支持する保守・極右勢力と韓

国の民主主義を守ろうとする勢力との対決だった。非常戒厳令を拒否して街頭に出た韓国民衆は「尹錫悦即刻退陣、社会大改革非常行動」に結集して戒厳令公布以降、毎週土曜日に集会と市民大行進を行った。

韓統連大阪本部も昨年12月から在日韓国人、日本人、韓国の留学生に呼びかけ、韓国民衆の闘いに連帯する「尹錫悦弾劾（後に罷免）と東アジアの平和実現のための韓日民衆連帯アクション」をJR鶴橋駅前、JR大阪駅前、ヨドバシカメラ梅田店前で数回にわたり行い、プラカードアピール、マイクアピールなどを通じて尹錫悦罷免などを訴えた。

このように韓国民衆の民主主義を守る闘いによって李在明新大統領を誕生した。

### ■内乱勢力の清算と社会大改革

李在明大統領がまず取り組まなければならないのは、尹錫悦前大統領をはじめとする内乱勢力の清算だ。李大統領自身も当選直後「皆さんが私に

託した第1の使命である内乱を克服し、銃剣で国民を脅かす軍事クーデターが2度と起こらないようする」と語っている。

6月12日、李大統領は尹前大統領の内乱事件を捜査する特別検察官を任命した。特別検察官とは、検察の捜査では政治的中立の確保が困難とされる事件などについて、大統領が任命する特別検察官が検察組織から独立して捜査を担う検察官のことだ。そして特別検察官は「職権乱用権利防止妨害」容疑などで尹前大統領を逮捕、裁判所は7月10日「証拠隠滅の恐れがある」として尹前大統領の身柄を再度拘束した。

次に重要なのは社会大改革だ。社会大改革とは、8年前のキャンドル革命で誕生した文在寅（ムン・ジェイン）政権下では十分な社会改革ができなかったという教訓をふまえ、単なる政権交代に終わらせず、李政権と各政党・市民社会団体が協議しながら社会改革を進めることで、その分野は労働・貧困・女性・平和問題など多岐にわたっている。

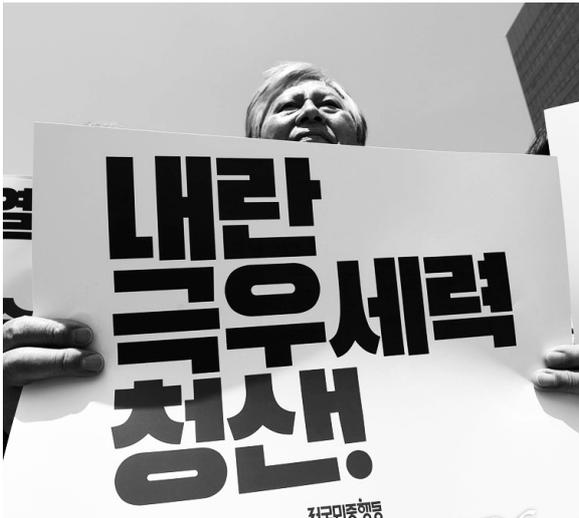
李大統領は内政において、まずは上記2つについて積極的に取り組み、結果を出さなければならない。

### ■南北関係の改善と互恵・平等な外交関係を

李在明新政権が発足して早速、南北関係で変化が見られた。李大統領就任後の6月11日、李大統



国会に突入する兵士の銃をつかむ市民



「内乱・極右勢力清算」のプラカードを掲げる市民

領は南北軍事境界線付近での朝鮮への拡声器放送の中止を指示した。これに応えるかのように朝鮮側も6月12日、南側への騒音放送を中止した。

尹錫悦前政権時代は尹政権の対北強硬政策、韓米日の軍事協力強化などで南北関係は最悪の関係だったが、今回の李政権の対応を契機に、今後は韓米合同軍事演習の中止へと進むことを望む。

外交面では米国をはじめ各国首脳と電話会談を行ったが、社交辞令的な部分もあり、今後、実際に対面での首脳会談がどのような内容になるかが注目される。

特に韓米、韓日関係では尹前政権のような米国追従、対日屈辱外交ではなく、互惠・平等の関係を築けるか期待したい。

デモ隊に襲いかかる右翼



5月25日、埼玉県秩父市でおこなわれた第75回全国植樹祭に反対する集会・デモに参加した。

（主催・もうやめよう！「植樹祭」埼玉実行委員会）

今回の植樹祭反対の取り組みに対して、秩父市は「植樹祭に反対する団体には施設を貸さない」と公園や会場を使わせないという不当な攻撃をおこなってきた。天皇4大行事反対の闘い、特に今回は秩父困民党蜂起の地に天皇・皇后が来るのなら闘わないわけにはいかない。警察権力のデモ妨害と右翼の暴力に抗して、西武秩父駅前での集会と聖人通りのデモ行進を闘い抜いた。

**天皇制の暴力を許さない！天皇制を廃絶しよう！**  
**天皇行事「第75回全国植樹祭埼玉2025」反対闘争に参加して**  
**【参戦と天皇制に反対する連続行動】 森重和樹**

駅前では天皇・皇后を歓迎してか、祭りの傘鉾が飾られていた。その反対側で集会の準備を進めていった。私たちが準備を始めた途端、2名ほどの右翼の男が突然、怒鳴りながら突っかかってきた。警察官が取り押さえたが矢継ぎ早に飛び込んできた。

午後1時半に集会がはじまり、まずは主催者があいさつをおこなった。集会が始まって右翼の野次や突進は絶えなかった。主催者あいさつの後、参加者がリレー発言し、関西から参加した釜ヶ崎パトロールの会は奈良海づくり大会反対の経験を話した。つづいて私から大阪・関西万博反対闘争の報告、来年の大阪海づくり大会反対闘争の準備について発言した。発言中も右翼の集会妨害がさらに激化してこのあたりから、参加者が集会に集中しづらい状況になっていった。右翼の攻撃が続くなかでも神奈川、多摩、茨城、東京の参加者が発言をおこなった。静岡や府中からも参加があった。

埼玉県警は右翼のデマを理由に、参加者に執拗

右翼の妨害をはねのけ、デモを貫徹する



に「事情聴収」を強要してきたが、私たち参加者は抗議してそれを阻止していった。  
デモの出発時間は午後2時10分だったが、右翼の体当たり攻撃やさらに多数の警官の過剰警備によりすし詰め状態になり30分以上身動きが取れなかった。デモ隊が動き出しても当然右翼が突っかかってきて、さらにその人数は増えてきた。主催者からは約1時間弱のデモという説明を聞いたが、1時間でようやく駅前ロータリーを抜け出し市役所前にたどり着き、聖人通りに入った。それからも右翼は突っ込んできてマイクを破壊しプラ

カードや横断幕やゼッケンを奪う攻撃をしてきた。右翼はマイクでヘイトスピーチを浴びせるだけでなく、暴力でデモを叩きつぶそうとした。これに対して警察権力は容認し、暴力行為を放置した。  
右翼の妨害でデモは停滞させられたが、荒川にかかっている佐久良橋まで進んだ。橋の入口を警官が封鎖していて右翼がついて来れたのは橋の入口までだった。私たちは橋を渡って、ちちぶキッツパークの横まで進みデモを終了した。解散地点の周辺は公園以外何もない。解散後はここから西武秩父駅まで戻らなくてはならず、車に乗り合わせたり歩いたり各々で戻った。私は関東の仲間と歩いたが、警官が監視していた。佐久良橋の下から荒川上流の風景をゆっくり眺められた。駅に近づいてくるにつれ、やはり待ち伏せていたであろう右翼の姿もあり、我々を見ると突っかかってきた。右翼の動きを警戒しながら歩いていたら市街地にさしかかった時、傘鉾の巡行を見た。  
西武秩父駅前に戻った時も緊迫した状態は変わっていないかった。当然待ち伏せている右翼は度々突っかかってくる。デマを言った男も駅前において「連行しろ」などとわめいていた。警官も我々に対して執拗に事情聴収を行なおうとしてつきまわった。駅周辺の店で懇親会をしたが、右翼も警察も入ってきたためとても落ち着いて歓談できなかった。

警察に挟まれ、進めないデモ隊



関東の右翼の攻撃について聞いてはいたが、反天皇制運動に対してむき出しの暴力でつぶそうとすることを実感した。警察は右翼の違法な暴力を見過ごす一方、反天皇制を闘うデモ参加者でつち上げまですりやうとする姿勢には、猛烈な怒りを感じた。  
本当に「妨害の中、最後まで闘いぬいた」と、とても感じた。しかし、あれだけ右翼や警察の妨害や攻撃が大きかったゆえに「天皇4大行事がなぜいけないのか」「なぜ天皇制を廃絶しなければならぬのか」という問題を現地で一体どこまでうったえられたのかという思いがわきあがった。  
それでも、差別や戦争の根幹である天皇制に反対する闘いを止めてはいけないことと、その闘いを労働者・人民の連帯へ拡張していかなければならないと改めて感じた。

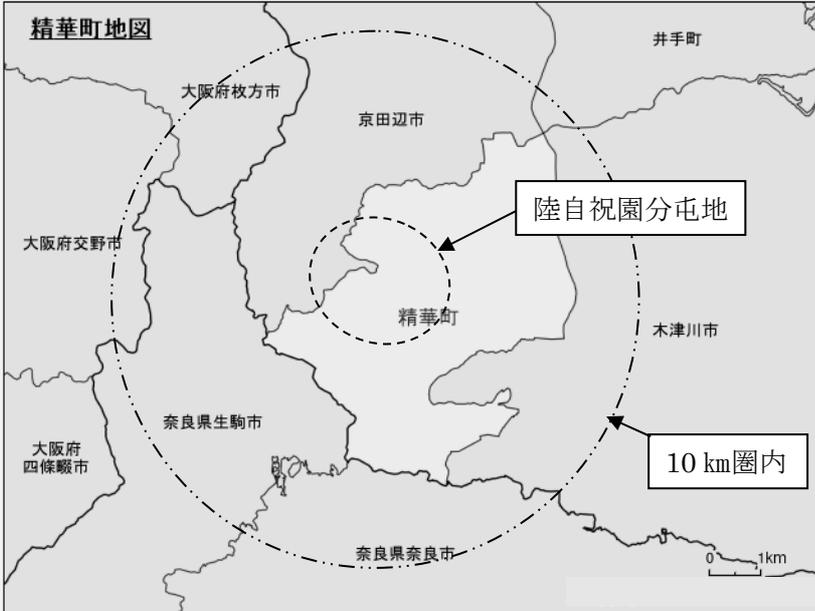
# 祝園（ほうその）弾薬庫増設問題について

【京都・祝園ミサイル弾薬庫問題を考える住民ネットワーク】

精華町議会議員 神田高宏

## ■祝園弾薬庫増設問題の現状

近畿中部防衛局は、7月1日、京都府精華町議会の議員に対し「陸上自衛隊祝園分屯地における



火薬庫等整備に係る工事について」説明しました。

7月24日、26日に町民に説明する内容を事前に議会に報告したものです。8月には造成工事に入り、火薬庫、倉庫等の本体工事を2027年度までに終わるとしています。

議員として、近畿中部防衛局に10数項目の質問、要望を提出しましたので2点を報告します。

①「なぜ、祝園分屯地に火薬庫を整備するのか」

## 14棟増設 約300億円 陸自・海自共同使用!?

精華町祝園分屯地は、本州最大級規模の施設。さらに！  
2023年末「祝園、本州の補給拠点に。陸・海自衛隊共同使用。増設費102億円」を知りました。これは2022年12月の「安保3文書」により、防衛費増強、ミサイル保有と能が切られたことによります。  
弾薬庫8棟増設の設計・造成費102億円と、最近明らかになった2025年度予算概算要求額192億円とあわせ、300億円近い税金をかけて、祝園に何がどのように配備されていくのでしょうか。防衛省は明らかにしていません—防衛力が知られてしまうから—と。

### 陸・海自共同使用、初のケースの意味は？

「反撃能力やミサイル弾薬の保管場所のために、祝園に陸自だけでなく海自の弾薬も保管できるように方針を固めた」「海自との共同使用で、南西諸島や九州だけでなく、本州でも有事に備えた補給拠点が整備される」と報道されました。(時事通信社より)  
明らかに、自衛隊の形が大きく変わっています。  
どこかの子どもたちを攻撃することにつながるのでは？

説明されているが、国際人道法（ジュネーブ条約第1追加議定書）の「軍民分離」は考慮しているか。ジュネーブ条約については答える立場にないとのことではなく、日本も批准している条約である以上、国としてしっかりと答えて欲しい。

②「ミサイルが発射可能な装備・装置もなく、（ミサイル）配備する計画もありません」とあるが、12式地对艦誘導弾は発射装置が車載式であり、分屯地に発射車両が来れば発射可能と理解するがいかか。ミサイルについては発射装置の有無に関わらず、ミサイル単独であっても保管されることは地元にとって大きな脅威であるので、保管、配備しないことを約束して欲しい。

## ■住民ネットワークの取組と広がり

① 5月24日、日本平和委員会全国大会（京都市）に呼んでいただき、「ほうそのネット」のパンフレット「学研都市にミサイル弾薬庫!？」を寸劇（3人）で紹介しました。

② 5月26日「戦争とめよう！つながり平和をつくろう！ZENKOSピーキングツアー」京都集会で、祝園弾薬庫増設問題と議員当選を報告しました。

③ 6月6日「戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク」の政府交渉（衆議院会館）、6月7日交流集会に現地参加し祝園弾薬庫の増設問題を全国に

訴えることができました。

④6月15日「ほうそのネット」学習会&総会には250人の方が参加いただき、布施祐仁さんからは、「弾薬庫増設のねらいと危険性」や、米中どちらの側にもつかず間に入って米中の緊張緩和をはかろうとしているASEANのこと等を学び、以下の方針を確認しました。

(i) 単なる工事説明会でなく総合的な説明を求め、  
(ii) 造成工事が強行された場合は抗議行動を行う、  
(iii) 10月に祝園現地で大集会を行う

### ■精華町議選を通じて、議員として

①5月の精華町議会議員選挙において、無党派で基礎票のない新人ですが当選できましたのは、「ミサイル弾薬庫は要りません」と訴え、町民の皆さんが弾薬庫増設（ミサイル保管）について、関心を持っておられ防衛省への思いを託していた結果と理解しています。

②6月議会では、陸上自衛隊祝園分屯地における弾薬庫の増設、安全対策について町長に質問しました。

★神田：防衛省は、「現在、火薬庫8棟及び倉庫等の整備に着手していますが、これに加え、今後、新たに6棟の火薬庫を整備する予定です。」と公表

しています(2024年12月)。「ほうそのネット」が近畿中部防衛局に、今後さらなる増設の計画はあるかと質問しました。

防衛局の回答は、「今後の新たな火薬庫の新設については、部隊運用上の利便性や各自衛隊施設の用地の地積など、総合的に勘案して整備場所を検討しているところであり、現時点で確たることは申し上げられません。」というものです。

広大な用地を有する祝園分屯地に、今後さらに増設される可能性があることについていかがお考えですか。

★答弁：現在のところ、さらに新たな火薬庫等の増設に係る説明は受けておらず、臆測に基づいての答弁はいたしかねます。

★神田：臆測で答弁できなくても、防衛省はまだ追加を言うてくる可能性があり、それに対してどのように対応するのか、町内部でじっくりと事前検討してもらいたいです。

③6月議会の総務事業委員会で、2件の請願が審査されました(6/18)。

↓「祝園弾薬庫増設計画全体についての住民説明会を求める意見書を防衛省に提出する請願書」  
委員7人中、神田を含め4人の賛成で採択されました。町民の声が議会を動かししました！

7月1日の会議では残念ながら、意見書賛成少数で不採択です。

↓「長射程ミサイルを保管しないよう国に意見書提出を求める請願書」  
賛成しましたが、残念ながら賛成少数で不採択です。

祝園弾薬庫に敵基地攻撃能力を持つ長射程ミサイルが保管されようとしていること、その問題点を引き続き追及します。

6月15日 ほうそのネット 学習会&総会&ピースパレード (撮影：細川義人)

